

# 多機能型事業所 りり

## Q&A と 日中活動プログラム

### 事業所理念

**利用者の尊厳を守りながら自立支援と社会参加を促進し、全ての人が安心して暮らせる社会の実現を目指し、自らの力で未来を切り拓けるよう支援する。**

開設の経緯：生活介護と短期入所を3年前から運営しています。主に日中活動の様子から、二次障害が合併している様子を見て、もっと小さい頃から関わることができればと強く思うようになりました。

私達は、生活介護や短期入所の経験から、これからの皆さんの将来像を掴むことができます。これは支えていく上で、とても重要なことです。今までの経験が皆様のお役に立つことができるように頑張ります！

### Q&A

 スタッフの人員不足や経験は大丈夫ですか？

多機能型として「人員基準の特例」を使用した場合の人員数は、かなり少なく済みますが、りりは特例を使用していません。生活介護とは区別して、重心型の児発・放デイとしての人員を全て揃えています。

7名定員に対して、4名常勤で常駐しています。全て経験が十分ある専門職です。管理者兼児発管として1名、看護師（1名）、理学療法士（1名）、保育士（1名）の合計4名です。また、3月より保育士が1名常勤で増える予定です。生活介護で働いていた理学療法士や看護師が中心となって運営していきますのでご安心ください。

 施設の場所や環境はどうですか？

施設の場所は、妻鹿駅の側にあります。重度障がい者のために設計から考えた新しい建物です。地域行事にも参加しやすい住宅街にあります。近所には、秋祭りで有名な神社もあり、自然が豊かで静かな環境です。

 りり独自のルールはありますか？

以前はありましたが、今は特にないです。以前あったルールは、夜の短期入所利用をスムーズに行うために、家での様子も知りたいとの理由から、弊社の訪問看護サービスの利用を薦めていました。しかしながら、考えていたようには連携が取れませんでしたので辞めました。訪問看護も閉鎖しましたので、今は特にルールを設けていません。

## リハビリでは どんなことをしてくれますか？

大きな福祉医療センターや訪問リハビリで、重度心身障害者や小児慢性疾患の方のリハビリをたくさん経験してきました。健常者や高齢者とは骨や筋の状態が全く違います。通常のストレッチや関節可動域訓練をすると痛めるリスクが高いので、やり方を変えています。普段からしっかりと触診をし状態を把握をしているので、レントゲンに映らない軽い捻挫などでも、触診でどの部位を痛めているのかわかることができます。重度障害のお子さんは、どこで痛めたのかわからない打ち身や怪我をされることがあります。痛くても喋ることができなくて、泣いて困っている時があります。私達が普段から身体を触っていれば、触診することで原因がわかり、酷くなる前に対処が可能となります。

また、内臓系の働きに対してもアプローチをします。例えば、排便コントロールで困っている場合は呼吸法や横隔膜のストレッチなどをします。変形予防に対しては、筋緊張緩和を図り、筋の運動を促してからポジショニングを整えます。呼吸法では、病院でやるような排痰は、在宅ではリスクが高くてできませんが、通常の呼吸ができるように呼吸介助を中心として行なっています。浅い呼吸しかできない場合は、どうしても疲れやすくなるので、呼吸介助で整えるだけでも違ってきます。

人により障害の程度が違うので、まだまだ私達にできることは無限にあると思います。これからの子ども達の将来のために、真剣に向き合っていきたいと考えています。

## 看護師はどんなケアしてくれますか？

日々の状態をしっかりと観察し個々にあったケアをさせていただきます。また毎月の身体測定結果や日々の食事摂取の状況から栄養状態を把握し、栄養面のサポートもしていきます。保護者の方々や学校関係者なども情報を共有させていただき子どもたちが楽しく安心して成長していけるよう医療職として全力でサポートをさせていただきます。

## どんな療育をしてくれますか？

療育の五領域を基本として、食事マナーの習得や排泄の自立といった基本的な生活習慣の確立を目指すと共に、日常のあそびを中心に、少しずつ「できた！」という体験を積み重ねることで自信を持ち、自己肯定感が持てるように支援していきます。また、自分から色んなことに興味や関心を持って積極的に行動出来るように取り組んでいきたいと考えています。

定員 7 名の少人数制ということを活かし、利用者様お一人おひとりが安心して過ごし、意思表示やコミュニケーションができる信頼関係を構築し、「自分で決めた」と感じる事が出来るような体験を積み重ねて、自己決定の形成を目指します。

さらに多機能型事業所ということで、幼児期から始まり、学童期～青年期～成人期と長期間に渡って継続した支援が出来ることを楽しみにしています。

## 仕事をしているので、遅くまで預かってくれますか？

平日の営業時間は、学校終了後から 17 時までとなりますが、延長も可能です。利用中に、入浴を済ませて、夕ご飯も食べてから送迎し、お家に帰ってからは寝るだけということもできます。ご家庭の状況にあったプランを柔軟に提案できますので、遠慮なさらずご希望をお聞かせください。

# 放課後等デイサービス 日中活動プログラム

対象者：主に重度心身障害児・医療ケア児対応

対象年齢：6歳から18歳

重度の障害のある子どもたちが放課後や長期休暇中に利用できる支援サービスです。日中活動プログラムは、子どもたちの発達や社会性の向上を目的とした多様な活動を提供する重要な要素です。子どもたちが楽しく、成長を実感できる場を提供することを目指しています。

弊社独自の取り組みとして、活動するための基礎となる心身機能のケアを大事にしています。看護師や理学療法士が常勤でいますので、活動の基礎となる心身機能を整えてから活動に参加していただいています。

## 日中活動プログラムの例

### 1. 感覚統合療法

- 子どもの感覚刺激の調整を目的とした活動。
  - 例：クッションやボールプールでのリラックス。
  - 光の調整が可能なスヌーズレンを使用した過ごし方。
- 目的：感覚過敏や鈍感を和らげ、心身の安定を促す。

### 2. 身体機能のサポート

- 理学療法士の個別リハビリや、理学療法士の指導のもと身体機能を維持・向上させる運動。
  - 例：個別リハビリテーション・ストレッチや軽い体操。各肢位のポジショニング。
  - 移動練習や立位保持装置を使ったトレーニング。
- 目的：健康維持や身体の柔軟性を高め、活動しやすい身体機能をつくる。また、ポジショニングにて変形予防を図る。

### 3. コミュニケーション支援

- 言語以外の方法（AAC：拡大代替コミュニケーション）を活用した活動。
  - 例：カードやタブレットを使った意思表示の練習。
  - スタッフや他の子どもたちとの簡単なやり取り。
- 目的：意思疎通の方法を学び、自分の気持ちを伝える力を育む。

### 4. 生活スキルの練習

- 日常生活で役立つスキルを楽しく学ぶ。
  - 例：歯磨きや手洗いの練習、食事補助のトレーニング。
  - 食事中にスプーンやフォークを使う練習。

- 目的：将来の自立や家族の負担軽減を目指す。

### 5. リラクゼーションタイム

- 子どもが安心してリラックスできる時間を提供。
  - 例：音楽療法、アロマテラピー、絵本の読み聞かせ。
  - 短時間の静かな休憩。
- 目的：情緒の安定とストレス軽減。

### 6. 創作活動

- 子どもたちのペースに合わせた手作業の活動。
  - 例：手形アートや簡単な工作、季節の飾り作り。
  - 必要に応じてスタッフが手を添えてサポート。
- 目的：達成感を得て、自己肯定感を高める。

### 7. 社会体験活動

- 地域社会とのつながりを意識した活動。
  - 例：施設内での模擬買い物、近隣公園での散歩。
  - 季節行事への参加（例：夏祭りやクリスマス会）。
- 目的：社会性を育て、地域とのつながりを感じる。

### 8. 音楽や視覚的な活動

- 音楽や視覚的な刺激を通じた楽しみを提供。
  - 例：音楽に合わせて手を動かす、映像を見ながら簡単な動作を真似る。
- 目的：感覚刺激と楽しさを通じたリハビリ効果。

### 9. 特別イベント

- 遠足やお泊まり体験
- お誕生日会
- 地域行事の参加（秋祭りなど）

## プログラム作成のポイント

総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、支援プログラム作成に当たっては、

5 領域 20 項目の評価表をもとにし作成します。

- **個別支援計画の作成**
  - 子どもの発達状況や障害特性に基づき、オーダーメイドのプログラムを設計します。
- **安全性の確保**
  - 子どもたちの体調や行動特性に配慮し、安全な環境で活動を行います。
- **小集団または個別対応**
  - 重度の障害を持つ子どもには、特に個別対応や少人数グループでの活動が有効です。
- **専門スタッフの配置**
  - 理学療法士、看護師、保育士などの専門家が常駐しているのでより効果的です。
- **保護者との連携**
  - 家庭での状況を把握し、プログラム内容を共有して一貫した支援をします。

# 児童発達支援 日中活動プログラム

対象者：主に重度心身障害児・医療ケア児対応

対象年齢：0歳から6歳

重度の障害を持つ子どもたちの成長と発達を支援するためのサービスです。日中活動プログラムは、子ども一人ひとりの特性やニーズに合わせた活動を提供し、心身の発達や社会性の向上を目指します。

弊社独自の取り組みとして、活動するための基礎となる心身機能のケアを大事にしています。看護師や理学療法士が常勤でいますので、活動の基礎となる心身機能を整えてから活動に参加していただいています。

## 日中活動プログラムの例

### 1. 感覚統合療法を取り入れた活動

- 活動例：
  - ボールプールやクッションを使った体感遊び。
  - 触覚や視覚を刺激するセンサールームでの活動（光るおもちゃや柔らかい素材を使用）。
- 目的：
  - 感覚刺激を調整し、心身の安定を促す。
  - 感覚過敏や鈍感を緩和し、環境への適応力を高める。

### 2. 身体機能の維持・向上を目指す運動

- 活動例：
  - 理学療法士の個別リハビリ。理学療法士の指導によるストレッチやリハビリ。
  - 移動練習や立位保持装置を使った体位変換。
  - 音楽に合わせた軽い運動や手足の動きの練習。
- 目的：
  - 筋力や柔軟性を維持・向上させ、身体機能をサポート。
  - 健康的な生活習慣を身につける。

### 3. コミュニケーション能力の育成

- 活動例：
  - 絵カードやタブレットを使った意思表示の練習。
  - スタッフや他の子どもたちと簡単なやり取りをするグループ活動。
  - 発語や表現の練習。
- 目的：
  - 自分の気持ちや要求を伝える力を育む。
  - 他者との関わり方を学び、社会性を養う。

#### 4. 生活スキルのトレーニング

- 活動例：
  - 手洗いや歯磨きなどの基本的な身だしなみの練習。
  - 食事の際のスプーンやフォークの使用練習。
  - 着替えやトイレのサポートを通じた自立支援。
- 目的：
  - 日常生活に必要なスキルを少しずつ習得。
  - 自立心を育て、家庭での負担軽減を目指す。

#### 5. 創作活動

- 活動例：
  - 季節に合わせた工作（例：クリスマス飾りや夏祭りのうちわ作り）。
  - 手形や足形を使ったアート制作。
  - スタッフがサポートしながら行う塗り絵やスタンプ遊び。
- 目的：
  - 達成感を味わい、自己肯定感を高める。
  - 手先の器用さや集中力を養う。

#### 6. 音楽・リズム活動

- 活動例：
  - 音楽に合わせて手を叩いたり、楽器を鳴らしたりする。
  - 簡単なリズム遊びや歌に合わせた動きの練習。
- 目的：
  - 音やリズムを楽しみながら感覚統合を促す。
  - 集中力やリラックス効果を得る。

#### 7. リラクゼーションタイム

- 活動例：
  - 静かな環境で絵本の読み聞かせやアロマを使ったリラックス。
  - マッサージやタッチケアで心身を落ち着かせる。
- 目的：
  - 子どもの緊張を和らげ、安心感を提供。
  - 情緒の安定を図る。

#### 8. 外出や社会体験

- 活動例：
  - 散歩や公園での外遊び。
  - 地域のイベントや施設見学への参加。
- 目的：
  - 社会の中での経験を積み、外部環境への適応力を高める。
  - 四季を感じる体験を通じて感性を育む。

## プログラム作成のポイント

総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、支援プログラム作成に当たっては、

5 領域 20 項目の評価表をもとにし作成します。

子どもたちが安心して過ごしながらか成長できる環境を整え、家庭や地域社会とのつながりを強化することを目指します。

・

### 個別性の重視

- 子どもの障害特性や発達段階に応じて、個別支援計画を作成します。
- 一人ひとりのペースに合わせた活動を提供します。

・

### 安全性の確保

- 子どもの体調や特性に応じた環境設定（安全な器具の使用、スタッフの配置）。

・

### 専門スタッフの配置

- 理学療法士や看護師・保育士などの専門家が連携しています。
- 医療的ケアを行う看護師を配置しています。

・

### 家族との連携

- 家庭での状況や課題を共有し、一貫性のある支援を提供しています。
- 保護者向けの相談会や情報提供も実施します。

・

### 楽しさを重視

- 子どもが楽しく参加できるプログラムを設計しています。
- 達成感を得られる活動を取り入れます。